

おっしょい

第69号

2025年(令和7年)

4月発行

放送大学福岡学習センター・北九州サテライトスペース

新たな学びと発見の春 ～ブルーベリーの青色の秘密～

4月に入学された学生の皆様、おめでとうございます。また、引き続き学習を継続されている皆様、本年度もよろしくお願い致します。皆様がそれぞれの目標に向かって充実した学びを進められるよう、福岡学習センターも全力でサポートしてまいります。

放送大学の大きな特徴は、通信教育のみならず、全国に57の学習センターやサテライトを通じて面接授業を提供している点です。各分野の第一線で活躍する講師陣による直接の指導は、学びを深める貴重な機会となります。しかし、多くの学生にとって、通学の負担は決して小さくありません。そのため、放送大学ではライブWeb授業を開始し、全国どこからでも受講できる学習環境を整えています。放送授業や面接授業とライブWeb授業を組み合わせることで、より柔軟で効率的な学びが可能になります。是非、ご自身のライフスタイルに合わせて活用してみてください。

さて、皆さんはブルーベリーの青色の秘密をご存知でしょうか？ブルーベリーはアントシアニンという色素を多く含むことで知られ、その色は長らくアントシアニンによるものと考えられてきました。アントシアニンは酸性で赤色、中性で紫色、アルカリ性で青色を示しますが、強いアルカリ環境では分解しやすい性質があります。しかし、2023年2月に英国ブリストル大学の研究グループが発表した研究によると、ブルーベリーの果実が見せる青色はアントシアニンによるものではなく、果皮表面のワックス層が青色光を散乱する「構造色」によるものであることが明らかになりました。

「構造色」とは、特定の色素によるものではなく、物質の微細構造が光を特定の波長で散乱・反射することで発現する色のことを指します。孔雀の羽や玉虫の輝きがその代表例です。ブルーベリーの表面を覆う2～4ミクロン程度の極薄のワックスブルームと呼ばれる層が青色の光を散乱させるため、私たちの目には青く見えるのです。実際に果実を絞ると、得られる液体は暗赤色であり、青色色素は含まれていません。この発見は、「当たり前」だと思っていたことにも、まだまだ未知の側面があることを改めて実感させてくれます。

学びとは、身近なものに対する視点を変えることで新たな発見を生むものでもあります。ブルーベリーの青色のように、皆さんの身の回りにも、まだ解明されていない不思議が隠れているかもしれません。卒業研究や修士論文のテーマとして、こうした日常の中の謎に取り組んでみるのも面白いのではないのでしょうか。

また、福岡学習センターは改修工事のため一時的に仮移転しておりましたが、5月から元の場所に戻る予定です。より快適な環境で皆様の学びを支えられることを楽しみにしています。本センターを、学びの拠点として是非ご活用ください。新しい学期のスタートとともに、皆様が新たなチャレンジに取り組み、知的探究心を深めていかれることを心より願っています。



福岡学習センター
所長 久枝 良雄

目次

ごあいさつ.....	1	システム WAKABAA パスワードの変更について...	10
福岡学習センターの移転について.....	2	通信指導について	11
客員教員のご紹介.....	3	単位認定試験について	11
新任客員教員のプロフィール.....	4	学生証の交付・更新、学割証について、学習相談 住所・電話番号変更手続きのお願い等	12
退任の先生からのメッセージ.....	6	九州大学キャンパス開放の開催について.....	13
講演会・セミナーについて		面接授業の追加登録について.....	14
客員教員によるステップアップセミナーについて...	8	ご卒業おめでとうございます.....	17
大学院入試のための英語ゼミ.....	9	4月～6月のスケジュール	19
事務室からのお知らせ.....	10		
キャンパスメールについて	10		

福岡学習センターの移転について

福岡学習センターが所在していた九州大学筑紫キャンパスE棟の改修工事が2024年度末に終了しました。

これに伴い、福岡学習センターは、一時移転していた総合研究棟2階からE棟へ移転し、2025年5月8日(木)(予定)から開所することとなりました。E棟での開所準備のために、一時的に閉所いたします。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願いします。

学生みなさまへのお知らせ

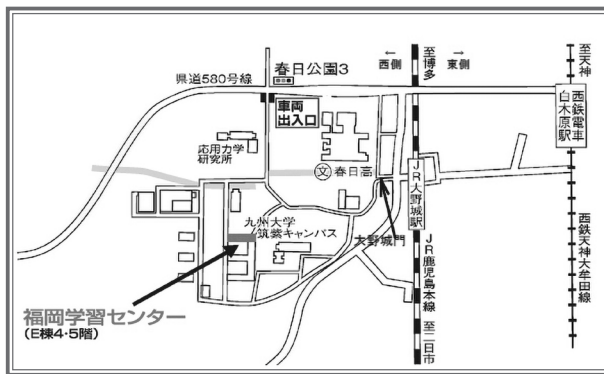
一般

●移転作業に伴う閉所期間について

閉所期間:4月17日(木)~5月7日(水)(予定)

なお、4月29日(火)～5月7日(水)はゴールデンウィークに伴い閉所いたします。

※閉所期間中は電話が繋がりません。



教務関係

●閉所期間中の証明書等の発行について

閉所期間中は、窓口での証明書等の発行はできません。

証明書等が必要な方は、4月16日(水)16時まで、または5月8日(木)9時30分以降に、窓口においてお手続きください。

なお、窓口閉鎖期間中は電話が繋がりませんので、お問い合わせがございましたら、5月8日(木)以降にご連絡ください。

お急ぎの場合は、北九州サテライトスペース(電話:093-645-3201)へご連絡ください。

郵送により証明書の発行を依頼された場合、4月17日(木)以降に福岡学習センターへ到着したものについては、5月8日(木)以降に、発行及び発送いたします。通常よりお手元に届くまでに時間が掛かりますので、ご了承ください。

証明書

郵送による申請の場合は、下記3点をお送りください。

- ①諸証明書交付願：※様式は、放送大学Webサイト・システムWAKABAからダウンロード、または学生生活の葉の巻末の様式をご利用ください。

- ②発行手数料(1通につき200円)

※[現金書留]または[郵便定額小為替証書](発行が半年以内かつ受取人氏名欄は未記入のもの)

- ③返信用封筒 ※返信用封筒を同封してください。

(長形3号(A4用紙が三つ折りに入る大きさ)の封筒に、宛名を明記し切手を貼付。)

※切手は、証明書が1通の場合は110円、2通以上は重さに応じた額になります。

申請数が多く料金が不明な場合は、180円、270円切手のいずれかを同封してください。

差額分の切手を返送時にお返しいたします。

視聽學習室・圖書室關係

視聴学習室：2025年4月17日(木)から2025年5月7日(水)まで、移転作業のため閉室します。

図 書 室：2025年5月頃まで、図書室を閉室しますので、図書の閲覧はできません。

図書の貸出：大学本部の図書については、4月17日(木)～5月7日(水)の閉所期間は受け取ることができません。

客員教員のご紹介

福岡学習センター・北九州サテライトスペースには、所長と15名の客員教員の先生が、学生のみなさんの学習をサポートしています。面接授業や講演会・セミナーの講師を担当するとともに、履修計画や学習方法、学習上の悩みや疑問など、学生さんの抱えている修学上の問題について学習相談を行っています。客員教員の先生方の出勤日は決まっていますが、変更になることがございますので、相談を希望される方は必ず事前に事務室にお問合せいただき、相談日時を予約してください。



池田 浩 先生
(九州大学大学院准教授)
専 門 産業・組織心理学、社会心理学
出勤日 第1・3木曜 午前



小山内 康人 先生
(九州大学名誉教授)
専 門 地質学・岩石学
出勤日 第2・4金曜 午後



金子 周平 先生
(九州大学大学院准教授)
専 門 臨床心理学
出勤日 第1水曜午後・第3木曜午前



合屋 伸一 先生
(元福岡県立高校校長・元福岡県教育庁教育監)
専 門 学生支援
出勤日 第2・4木曜 午後



立花 宏文 先生
(九州大学大学院主幹教授)
専 門 食品機能学、生命化学
出勤日 第2・4土曜 午後



田淵 浩二 先生
(九州大学大学院教授)
専 門 刑事法
出勤日 第1・3日曜 午後



鶴野 玲治 先生
(九州大学大学院教授)
専 門 情報科学、コンピュータグラフィックス
出勤日 第1・3金曜 午後



南里 豪志 先生
(九州大学准教授)
専 門 情報科学
出勤日 第1・3日曜 午後



萩島 理 先生
(九州大学大学院教授)
専 門 建築環境、都市気候、都市環境
出勤日 第1・3土曜 午後



堀井 伸浩 先生
(九州大学大学院准教授)
専 門 産業経済論、中国エネルギー・環境分析
出勤日 第1・3火曜 午後



松村 瑞子 先生
(九州大学名誉教授)
専 門 社会言語学、対照言語学
出勤日 第2・4金曜 午前



宮本 一夫 先生
(九州大学名誉教授)
専 門 東アジア考古学
出勤日 第3火曜・金曜 午後



村木 里志 先生
(九州大学大学院教授)
専 門 人間工学
出勤日 第2・4土曜 午前



分部 利紘 先生
(西南学院大学准教授)
専 門 認知心理学、社会心理学
出勤日 第1・2水曜 午前



山下 智也 先生 (北九州)
(北九州市立大学教授)
専 門 環境心理学、教育心理学
出勤日 第2・4火曜 午後

新任客員教員のプロフィール

立花 宏文 (たちばな ひろふみ) 九州大学大学院 主幹教授

プロフィール	出身は福岡市です。地元の高校を卒業後九州大学に入学。農学研究科食糧化学工学専攻を経て、九州大学助手、助教授、准教授、教授を経て現在は農学研究院生命機能科学部門主幹教授として教育と研究に従事しています。
趣 味	温泉巡り、建築探訪
学生へのメッセージ	はじめまして。専門は食品機能学で、食品に含まれる成分の生体調節作用とその仕組みを研究しています。また、大学での研究成果を社会実装するための取り組みを企業や国立研究機関の方に行っています。九州大学では食品産業界や医薬品業界を目指す学生さんを指導しています。放送大学には多様な経験を持つ学生さんがおり、客員教員として学生とより多くの交流機会を持てることを楽しみにしています。

鶴野 玲治 (つるの れいじ) 九州大学大学院 教授

プロフィール	大阪生まれで共通一次試験の一期生です。学生の時にコンピュータの楽しさに目覚めて以来グラフィックスやビジュアライゼーションの研究を続けてきました。大阪府立大学で学位を取得し、教員として大阪の近畿大学理工学部、(旧)九州芸術工科大学を経て、現在は九州大学大学院芸術工学研究院メディアデザイン部門でCGの理論から制作表現まで若手世代の育成と研究支援に関わっています。
趣 味	思いついたことは何でもやってみたいタイプです。ですが旅行よりも旅行計画が面白く、写真ではなくカメラが好きで、ドライブよりも洗車が楽しく、新しいソフトウェアは使うよりもインストールでわくわくします。まず形から入り、形だけで終わるタイプなのかもしれません。学生たちと賑やかにワイワイ語る時に疲れが癒されます。ネコ派です。
学生へのメッセージ	私の関わっているコンピュータグラフィックスやバーチャルリアリティは見た目では賑やかそうな研究分野ですが本気で取り組むと複雑で難解な問題だらけです。ですが「楽しい」と感じると世界の見え方が変わり、足りなかった知識は後から自然に身に付き、一見関係のなさそうな雑学が思わぬ形で役に立つこともあります。勉強を始めるのに、早すぎることも遅すぎることもありません。楽しいと思った時がベストなタイミングで、これはどんな学問分野にも言えることかもしれません。そんな体験のお手伝いができればと考えています。

萩島 理 (はぎしま あや) 九州大学大学院 教授

プロフィール	福岡出身で九州大学にてアカデミックキャリアをスタートしてから28年になります。主な研究分野は、ヒートアイランド現象などの都市空間の環境、建築物の室内熱環境や空気質、建築の省エネルギーや脱炭素化です。
趣 味	研究のため海外フィールド調査では、日本とは異なる気候風土や人々の生活を間近に見る機会があり、それは大きな楽しみの一つです。また、ピアノを弾くことや音楽を聴くことが、日々の暮らしの安らぎとなっています。
学生へのメッセージ	地球規模の気候変動の対策として、現在、日本をはじめ世界中で脱炭素化に向けた研究や技術開発、施策が進められています。私の専門分野では、建物(特に住宅)において、健康で快適な暮らしを維持しながら省エネルギーや脱炭素化を実現する手法の研究を行っています。放送大学で幅広い年代の皆さんと共に学び、多様な意見やアイデア、新しい視点に触れることを楽しみにしています。

宮本 一夫 (みやもと かずお) 九州大学 名誉教授

プロフィール	出身は島根県松江市です。京都大学文学部卒業、京都大学大学院文学研究科修士課程を修了後、京都大学文学部助手、愛媛大学法文学部助教授を経て、九州大学文学部助教授、九州大学大学院人文科学研究院教授と40年間教職に就きました。専門は東アジア考古学で、日本、中国、ロシア沿海州、モンゴルと東アジア各地で発掘を行ってきました。
学生へのメッセージ	人類の歴史を、物質文化すなわち遺跡や遺物から探るのが、考古学です。それは単に人類社会の歴史だけではなく、自然環境の変遷とも関わった人類の環境適応史でもあります。そうした様々な環境や歴史的な背景の中、多様な人類社会の有様と交流さらには進化の過程が理解できます。人類の共存の未来を考えるためにも、人類の過去を学んでみませんか。

山下 智也 (やました ともなり) 北九州市立大学 教授

プロフィール	山口県長門市出身です。九州大学教育学部、大学院人間環境学府を修了後、西日本短期大学にて保育者養成に、宮崎国際大学で小学校教員・保育者養成に携わってきました。現在は北九州市立大学文学部人間関係学科に所属し、中学校・高等学校の教員養成にも携わっています。子どもの主体性を保障するための大人の居方・関わり方や、それを取り巻く子どもの環境(遊び場・居場所)などについて、実践と研究の両輪でアプローチしています。
趣味	子どもと遊ぶことです。特に大学院生時代に立ち上げた遊び場で子どもたちと過ごすことは、趣味を超えて、現在のライフワークとなっています。サッカー観戦も大好きで、とあるJリーグチームのサポーターとして頑張っています。
学生へのメッセージ	放送大学には、多種多様な経験をお持ちの学生さんがたくさんいらっしゃると思います。折角のご縁ですし、私が一方的に何かを教授することよりも(もちろん、私に求められる役割はきちんとこなしつつですが)、皆さんとの“対話”を通して、お互いに学び合い、高め合える場を大切に育んでいければと思っています。きっとそこに、学びの本質があるはずです。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

分部 利紘 (わけべ としひろ) 西南学院大学 准教授

プロフィール	大学入学までは熊本にて、大学・大学院・博士研究員の間は東京にてそれぞれ過ごし、2015年に九州(福岡)に大学教員として戻ってまいりました。私たちの多くが日々行っている「選ぶ／決める」という判断や行動の仕組みやその合理性について、研究を行っています。
趣味	釣りです。こちらから見えないところで魚たちがどう活動しているかを想像し、その先手を取ろうとする試みが、心理学とも共通しているようで、楽しさを感じています。
学生へのメッセージ	心理学は、人の“心”の理(ことわり)について学び、研究する学問分野と言えます。ところがその“心”なるものは、私たちが日々当然のように体感しているものの、それを直接的に目で見たり手で触ったりしたことのある人はいないと思います。では、このように近くて遠い“心”なるものに対して、心理学ではどのような方法でそれを明らかにしようとし、また実際にこれまでどのようなことが明らかになってきたのでしょうか。放送大学では、心理学の知見はもとより、その難しさまで含めてともに学んでいく場にしたいと思っています。

退任の先生からのメッセージ

坂上先生よりメッセージ

5年間お世話になりました。23年度からは放送（「古代中世の日本」）の方も担当することになり、放送大学とのご縁が深まりましたが、この春で一区切りとなります。

この間、面接授業やセミナーの機会をいただき、古代九州の歴史について考えるきっかけを得ることができました。ご聴講いただいた皆さんに感謝申し上げます。思い出深いのは卒業研究の指導で、学生さんの素晴らしい頑張りで福岡の名望家の事例研究としてまとめるのをお手伝い出来たことを嬉しく思っております。

意外にも筑紫キャンパスは、箱崎・伊都の両キャンパスよりずっと情趣に富んでいました。梅林、桜や紅葉の並木、カイヅカイブキの木立と、四季の移ろいを目にすることができ、まるでルネサンス期絵画に迷い込んだような一瞬も味わえます。これを守り育てていただいた先人には感謝の言葉もありません。

当センターのますますの発展と受講生のみなさんのご健勝をお祈りします。
ありがとうございました。



九州大学名誉教授
坂上 康俊

佐藤先生よりメッセージ

放送大学の存在と、システム理解がこの5年間で進みました。受講生の皆様は、とても学習意欲が高く、お仕事をしながら、さらに退職された後でも、面接授業、ステップアップセミナーなど、私に関わった授業を聴いていただき、頭の下がる思いです。放送大学で学んだことを糧に、「良く生きる」を実践していき頂きたいと思っております。また在任中、二つの自治体で、放送大学共催の市民講演会で講演をさせて頂きました。放送大学の授業もそうですが、一般市民講演というのは、演者からすると非常に難しい講演です。かなり準備に苦労した思い出があります。その困難さはどこから来るのかと考えましたら、「私は聴衆が何を知っているかを知らない」ということでした。これは今後、講演をする機会がある場合に、肝に銘じて準備することにいたします。最後になりますが、福岡学習センターおよび北九州サテライトの職員の皆様、いろいろご迷惑をかけました。どうもありがとうございました。2025年3月をもって任期満了により退任いたします。



九州大学大学院教授
佐藤 匡央

谷本先生よりメッセージ

2025年3月をもちまして任期満了により客員教授を退任いたします。歴代センター長の先生はじめ福岡学習センターの方々には大変お世話になりました。この場をかりて御礼申し上げたいと思います。大学で講筵の末席に連なって30年以上たちますが、一般向け講演は別儀にすると、シニア層はじめ若者まで幅広い学生諸君を聞き手とする講義は私には大変新鮮で、わが身の学習に得るものが大きい経験でした。就中、普段は若者相手なもので、どこか年齢差をいいことにわが身を高めにおいて喋る向きが少なからずあったろう私には、人生の先輩たちへ話を聴いてもらう機会は、「教え授ける」教授ではなく「聴いて貰っている」わが身の丈を知る場でありました。サイエンスやエンジニアリングの専門を標榜しておりますが、文学、歴史はじめ人の織りなす森羅万象に尽きぬ興味を抱いてきた私には、夫々の人生で老舗のさびを帯びるほど蓄積を重ねてきた先輩たちとの交歓は楽しいひとときでありました。いい一刻に恵まれたあと、このような時間に後どれだけ邂逅できるだろうかと自問することが多くなりました。自身が年を重ねて残り持ち時間が少なくなってきたことと、蓋し、関係があるのでしょうか。



九州大学理事
谷本 潤

富松先生よりメッセージ

2022年4月から2025年3月まで、放送大学の客員教授として任期を務めさせていただきました。福岡学習センター前所長の安河内先生、現所長の久枝先生、職員みなさまにはたいへんお世話になりました。

放送大学では面接授業やステップアップセミナーを通し、みなさんの学習意欲に触れながら、私自身も新しい潮流を見つけて話題にするなど、共有する授業の時間を十分に楽しませていただきました。「デザイン思考」の授業では、最先端のSNSやオンラインホワイトボードを使ったブレインストーミングを取り入れ、AIをグループワークに参加させるなど、新しい試みにもチャレンジしました。このようにみなさんと共に楽しめるようなワークショップの機会をいただいて本当にありがとうございました。

コロナ禍以降、リモートワークやリモート授業が一般化して行く中で、放送やオンラインによる遠隔教育を特徴とする公開大学である放送大学の先端性がますます際立ってきているように思います。

在学するみなさんが学びをはじめ、ますます楽しみ、いつまでも学び続けるような「学びのスイッチ」が入ることを心から願っています。ありがとうございました。



九州大学名誉教授
富松 潔

花田先生よりメッセージ

2020年4月より務めておりました客員教員の任期満了を迎えることになりました。

お世話になりました皆さま方に心より感謝申し上げます。

年2回担当した心理検査法基礎実習の面接授業では多くの方々との出会いがありました。また、この間に卒業研究で関わりを持った学生さんはお二人でした。Aさんと初めて対面したのは2020年の7月になってからでした。新型コロナウイルス感染症の流行があり、それまではメールで細々とやり取りをしていました。マスクを着けてアクリル板越しに行ったAさんとの面談が思い出されます。Aさんは大変積極的に取り組み、ご自分の興味関心に沿って本当に沢山の論文に目を通し卒業研究をまとめ上げられました。2021年はBさんの卒業研究に関わりました。Bさんも大変熱心な方でした。ご自分の興味関心に沿って地域住民の協力を得て質問紙による調査を行い、統計的な分析（重回帰分析）も行いました。卒業研究で一緒にできた方は決して多くはありませんでしたが、お二人とも正に学生でした。大きな刺激を受けました。

今後も「心理検査法基礎実習」の面接授業でお世話になるかもしれません。良いご縁がありましたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



西南学院大学教授
花田 利郎

税田先生よりメッセージ

主に北九州サテライトスペースで勤務させていただきましたが、2025年3月をもちまして5年間の任期を終え退任することとなりました。初年度は新型コロナウイルス感染症が拡大している最中での就任でした。月日が経つにつれ、出勤できない、対面授業が中止になる状況となり、どのように活動すべきか思案したのを覚えています。ただ、そのような中でも卒業論文を執筆したいと熱意を持った方がおられ、専門分野は少し異なりますが担当させていただきました。慣れないオンラインでの指導、メールでのやりとりは学生にとって分かりづかったかと思います。それでも見事に作成してくださったことは本当に嬉しく感じました。また、心理学の実習授業をグループ活動から個人活動中心へと進め方を変更するなど担当授業にも試行錯誤しましたが学生の皆様のご協力もあり無事に乗り切ることができたのではないかと考えています。教育や就業のあり様が大きく変わる中、放送大学で新たな経験をさせていただいた5年間でした。これも勤務を支えてくださった放送大学職員の皆様のおかげと感謝申し上げます。どのような状況でも学びを忘れず、これからも教育に携わっていきたいと思います。



北九州市立大学准教授
税田 慶昭

客員教員によるステップアップセミナーについて

福岡学習センター客員教員による公開講演会です。どなたでも無料でご参加いただけます。

【福岡学習センター会場】

(北九州サテライトスペースでZoomにより参加できます)

※参加申込受付:6月27日(金)から開始(先着順→各定員50名)

お申し込みは、こちらから▶



開催日	時間・講師名	演 題
7月27日(日)	堀井 伸浩 九州大学大学院 経済学研究院准教授 (10:00~12:00)	世界のエネルギー地政学の激変と我が国エネルギー・環境政策の課題 従来よりエネルギー小国として我が国はエネルギー安定供給に高い関心を払ってきましたが、近年は気候変動への関心に押され関心が薄れている面があります。しかしウクライナ戦争や中東情勢の不安定化により、我が国のエネルギー輸入価格は高騰し、貿易赤字の大きな原因となっています。我が国の発展にとって望ましいエネルギー・環境政策はどうあるべきか、最新のエネルギー基本計画の内容検討も含め、皆さんと考えます。
	池田 浩 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授 (13:00~15:00)	企業カルチャーの心理学 ー組織に流れる共通の価値観はいかに組織を活性化・衰退させるかー 昨今、組織に流れる共通の価値観ともいうべき「カルチャー」(組織文化、風土)に起因する不祥事が相次いで報道されている。他方で、健全なカルチャーは組織を活性化させ、人々のウェルビーイングを高める機能も持つ。こうした「カルチャー」はいかに形成され、それはどのような構造を持つのか。また、なぜ企業によって望ましいカルチャーと、風通しの悪いカルチャーができるのだろうか。企業カルチャーに関わる最新の知見から、この問題を考えていきます。

【福岡学習センター会場】

(北九州サテライトスペースでZoomにより参加できます)

※参加申込受付:7月9日(水)から開始(先着順→各定員50名)

お申し込みは、こちらから▶



開催日	時間・講師名	演 題
8月9日(土)	萩島 理 九州大学大学院 総合理工学研究院教授 (10:00~12:00)	私たちの住まいと暮らし方から考える熱中症 近年、西日本では日平均気温が平年値に比べ極めて高い猛暑の年が頻発するなど、地球規模の気候変動の影響が身近に感じられるようになりました。それに伴い、熱中症に伴う救急搬送者数や死者数も増加傾向にあります。こうした状況を踏まえ、本講義では熱中症に関して、建築環境工学の観点での住まいのシェルター効果、救急搬送データやアンケート調査の分析に基づく知識ー認識ー行動の3ステップによる予防策についてお話しします。
	宮本 一夫 九州大学 名誉教授 (13:00~15:00)	東アジアの青銅器と鉄器の始まりを考える モンゴル青銅器時代墓葬の発掘調査から、東アジア特に中国での青銅器や鉄器の始まりがどのようにしてそして何時始まったのかを明らかにします。それはユーラシア草原地帯を経て西アジアから東アジアへ広がったものでした。その広がりは、ユーラシア草原地帯における人の移動とも関係していました。農耕社会と牧畜社会の接点で受け入れられた青銅器や鉄器は、農耕社会の中国において独自の技術に転換して行きます。

【北九州サテライトスペース会場】

(福岡学習センターでZoomにより参加できます)

※参加申込受付:7月24日(木)から開始(先着順→定員50名)

お申し込みは、こちらから▶



開催日	時間・講師名	演 題
8月24日(日)	山下 智也 北九州市立大学 文学部教授 (13:00~15:00)	子どもを取り巻く遊び環境の変遷 子どもを取り巻く遊び環境は年々厳しさを増しています。本セミナーでは、簡単なワークを通してみなさんの子ども時代を思い出しつつ、現代の子どもの遊び環境との違いを概観するとともに、子どもの心に及ぼす影響について考えを深めます。さらに、子どもの遊び環境を豊かに保障していくために、私たち大人にできることは何かを、みなさんと一緒に考えてみたいと思っています。

【福岡学習センター会場】

(北九州サテライトスペースでZoomにより参加できます)

※参加申込受付:8月21日(木)から開始(先着順→各定員50名)

お申し込みは、こちらから▶



開催日	時間・講師名	演 題
9月21日(日)	立花 宏文 九州大学大学院 農学研究院主幹教授 (10:00~12:00)	緑茶と健康 鎌倉時代の栄西禅師は「喫茶養生記」において、“茶は養生の仙薬なり。延齡の妙術なり”、と記しています。このように緑茶の効能は古くから活用されてきました。本セミナーでは緑茶の生体調節作用とそのメカニズムに関する最近のトピックスを紹介します。
	松村 瑞子 九州大学 名誉教授 (13:00~15:00)	「ポライトネス」と「丁寧さ」 英語の "politeness"「ポライトネス」は日本語では「丁寧さ」と訳されます。しかし、英語の「ポライトネス」は日本語の「丁寧さ」「礼儀正しさ」とはかなり異なる概念です。この講義では、まず敬語を中心とした礼儀正しさを連想させる日本語の「丁寧さ」と、“face”(面子)という概念を中心とした “strategy”(戦略)としての英語の「ポライトネス」の相違について見ていきます。次にこの相違がどのように変化していったのかについて考えていきます。

申込方法

メール・FAX・または電話のいずれかの方法により、以下の5項目をお知らせください。

- ①参加希望セミナー名 ②参加会場(福岡または北九州) ③申込者氏名(ふりがな)
 ④連絡先(TEL) ⑤申込者属性(在学生・一般)

申 込 先

放送大学 福岡学習センター

メール: fukuoka-koen@ouj.ac.jp (セミナー申込受付専用アドレス)

電話:092-585-3033 FAX:092-585-3039 ※定員になり次第締め切ります。

大学院入試のための英語ゼミ

松村瑞子先生による英語ゼミ「放送大学大学院入試問題の英文を読み解く」を下記日程で開催いたします。
 どなたでもご参加いただけます。(定員30名※先着順)

【福岡学習センター 5F 講義室 I】 北九州サテライトスペースでZoomにより参加できます。

日 時	ゼ ミ 内 容
第1回 8月2日(土) 第2回 9月6日(土) 時間:13時30分~15時30分	放送大学の大学院入学試験問題の中から松村先生が厳選した英文を精読します。 実際に受験する方だけでなく、学術的な英文の読解に興味のある方の受講も歓迎します。受講申込者には、メールに教材資料をお送りしますので、事前に目を通しておいください。

申込期間

7月2日(水)~8月2日(土)

申込方法

Google フォーム、電子メール、放送大学福岡学習センター窓口、電話により受け付けます。氏名、学籍番号、連絡先(学外の方は電子メールアドレスも)を学習センターにお知らせください。

E-mail: fukuoka-koen@ouj.ac.jp TEL:092-585-3033

お申し込みは、こちらから▶



事務室からのお知らせ

<重要> キャンパスメール (Gmail) について

「キャンパスメール」は、Webブラウザを利用した電子メールシステムで、学生全員にメールアドレスが割り振られています。福岡学習センターから修学関連の連絡を随時いたしますので、定期的にキャンパスメールを確認して頂きますようお願いいたします。

アクセス方法

※画像はパソコンの例です。スマホやタブレットの方は、Gmailのアプリから入ってください。

①福岡学習センターウェブサイトトップ画面右の「システムWAKABA」をクリック。



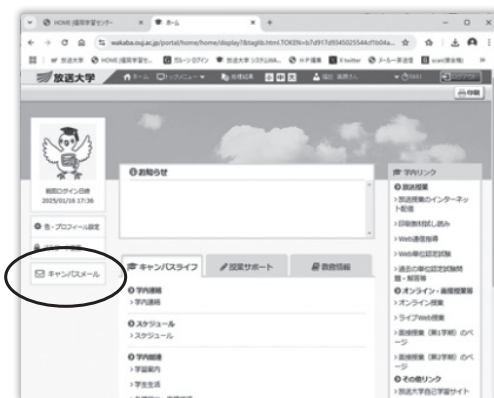
②ログインをクリックします。



③ログインIDとパスワードを入力。



④システムWAKABAトップ画面 左下「キャンパスメール」をクリック。



<重要> システム WAKABA パスワードの変更について

システムWAKABAを利用するためには、ログインIDおよび初期パスワードが必要となります。

ログインIDおよび初期パスワードは入学許可書に記載しており、初めてログインする際は必ずパスワード変更ページ (<https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>) より初期パスワードを変更後、ログインしてください。

また、2009年10月以降に本学に在籍していた方で、パスワードの変更を行っている場合には、入学許可書の記載によらず、変更後のパスワードにてログインすることとなります。

【システムWAKABAへのログインに関する問い合わせ先】

・各学習センターまたは、学生サポートセンター(TEL:043-276-5111)

ご注意ください!!

通信指導について

2024年度第2学期から、原則Web通信指導による提出(郵送提出科目を除く。)となりました。
そのため、問題冊子の送付はありません。

通信指導問題は、システムWAKABAの「授業サポート⇒授業共有ファイル」にて4月上旬から確認できます。

通信指導とは、一定の範囲で出題される問題を解き、その答案を大学本部へ提出して添削指導を受けることです。この添削結果により単位認定試験の受験資格が得られます。通信指導が不合格または未提出の方は単位認定試験を受験できません。

提出方法:Web通信指導による提出
(一部、郵送提出科目を除く。)

提出期限 5月 8日(木)10:00～
5月28日(水)17:00

*詳しくは「学生生活の栞」(教養学部 P67～72、
大学院 P72～77)をご覧ください。

【大学本部連絡先】 Tel:043-276-5111 (総合受付)

単位認定試験について

1. 単位認定試験は、自宅等からインターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出(送信)を行うWeb受験方式で実施されます。

- Web受験方式では、1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)
- 科目毎に「択一式」「記述式」「択一式と記述式の併用式」の何れかの形式で出題されます。
- 試験日程は、試験の実施方法(web/郵送)および出題形式(択一式/記述式/併用式)によって試験期間が異なります。

実施方法	出題形式	試験日程(郵送は提出期間)
Web試験	択一式科目	7月16日 9:00～7月24日 17:00
	記述式・併用式科目	7月16日 9:00～7月20日 17:00
郵送試験	すべての出題形式	7月16日～7月20日 (本部必着)

※「行政学講説('24)」、「正多面体と素数('21)」、「日本美術史の近代とその外部('18)」、「量子化学('19)」の4科目は、「郵送受験方式」です。

2. Web単位認定試験体験版の操作及び個別の操作説明の実施について

Web単位認定試験システムの体験版が、システムWAKABAにおいて利用可能です。受験に使用する予定のパソコン等から、試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。

なお、自宅での操作体験が困難な方は、福岡学習センター及び北九州サテライトスペースにおいて個別に操作説明を行います。希望する方は、事前予約をお願いいたします。

[福岡学習センター092-585-3033 北九州サテライトスペース093-645-3201]

3. 自宅等でのWeb受験が困難な方について【要申請】

ご自宅等にインターネット環境がない、パソコン等操作が困難等のご事情により自宅等でのweb受験が困難な方は、下記のとおり申請を行うことで、単位認定試験を学習センター等で受験することが可能です。

- ・学習センター等で受験する場合、「授業科目案内」およびシステムWAKABAに記載の試験日・時限に受験する必要があります。
- ・学習センターで受験する場合でも、原則として「問題の閲覧」および「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。（記述式の解答のみ解答用紙で行います。）
- ・郵送受験科目については、パソコン等は使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。
- ・学習センターで受験希望の方は、以下により申請願います。

《申請方法》

●システムWAKABAで変更手続き

「教務情報→変更・異動手続き→単位認定試験受験場所変更」

●郵送提出の場合

「2025年度 学生生活の葉」巻末に付属する（単位認定試験受験場所変更願[巻末様式15]）にご記入の上、申請期間内に下記あて先に郵送してください。

申 請 先：〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11 放送大学学務部学生課単位認定試験係

申請期間：2025年4月1日（火）～2025年4月30日（水）《必着》

4. 心身等に障がいのある方で、自宅等でのWeb受験が困難な方への配慮について（修学上の特別措置）

修学上の特別措置は、希望者と本学（所属学習センター）とが相談・協議の上、決定されるものです。

詳細は放送大学ウェブサイトをご参照いただくか、所属学習センターまでご相談ください。

学生証の交付・更新について

学生証は、福岡学習センター及び北九州サテライトスペースの窓口で交付しています。

（福岡学習センター所属の方は福岡学習センターで、北九州サテライトスペース所属の方は北九州サテライトスペースでの交付となります。）

新規及び継続入学の方は「入学許可書」を、全科履修生で有効期限切れ更新の場合は、「旧学生証」を提示してください。なお、顔写真が未登録の場合、学生証は発行できません。システムWAKABAまたは郵送により手続きを行ってください。

（詳しくは、「学生生活の葉」、教養学部はP23～25、大学院はP34～37をご覧ください。）

学割証について

全科履修生及び修士・博士全科生に限り、学割証を発行しています。自宅「最寄り駅」から福岡学習センターまたは北九州サテライトスペースに通学する場合等に申し込むことができます。なお、交通機関によって発行できる条件、割引率等が異なります。詳細は福岡学習センター発行の「利用の手引」（P31）および「学生生活の葉」（教養学部P128～129、大学院P128～129）をご覧ください。

学習相談について

福岡学習センター・北九州サテライトスペースでは、学習の方法や進め方、修学上の相談などを所長や客員教員、事務職員（相談内容により担当が決まります）がお受けしております。相談を希望される場合は、福岡学習センターのウェブサイトに掲載された「学習相談票」またはお電話により、お気軽にお申し込みください。

住所・電話番号変更手続きのお願い

転居などにより、ご自宅の住所や電話番号が変更になった場合は、大学本部や学習センターからの郵便物が届かなくなるなど、大切な連絡をお伝えすることができなくなりますので、システムWAKABAまたは住所等変更届により必要な手続きを行っていただくようお願いします。

電話番号のおかけ間違いにご注意ください

お問い合わせの際に、間違い電話が多数発生しており、電話のかかったご家庭に多大なご迷惑をおかけしておりますので、福岡学習センターの電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようお願いいたします。

九州大学キャンパス開放（オープンキャンパス）の開催について

今年も、福岡学習センターが所在する九州大学筑紫キャンパス内に於いて、九州大学キャンパス開放（オープンキャンパス）が5月10日（土）に開催されることになりました。

福岡学習センターからは、サークルの紹介や福岡同窓会による印刷教材配布を行う予定です。

詳細は4月中旬頃に福岡学習センターのウェブサイトへ掲載いたしますので、ご参照ください。

使わなくなった
印刷教材を
募集しています！
※閉講科目OK ※返却しません

送り先
放送大学
福岡学習センター
※封筒に「古本在中」と
明記ください。

放送大学福岡学習センター X（旧 Twitter）のお知らせ

放送大学福岡学習センター・北九州サテライトスペースのウェブサイト更新情報などを発信しています。

下記URLで閲覧できますので、ぜひご確認ください。フォローをすると、ウェブサイト更新の通知を受け取ることができます。

【放送大学福岡学習センター X（旧 Twitter）】

URL: <https://twitter.com/fukuokacenter>

アカウント: @fukuokacenter



【フォロー方法】

- ①上記URLから放送大学福岡学習センターのTwitterにアクセス
- ②アカウントをお持ちの方はログイン、お持ちでない方はアカウントを作成し、「フォローする」をクリック



面接授業の追加登録について

面接授業科目では、登録者数が定員に満たない科目(空席のある科目)に対して、追加登録によって受講の申し込みができます。

空席状況の発表 4月11日(金)15時	次のいずれかの方法で事前申請します。 A:Googleフォームから申請 B:学習センター窓口で申請 C:追加登録申請書の郵送も可(※福岡学習センター宛4月16日(水)午前必着) ※放送大学面接授業ウェブサイト(https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/)、福岡学習センターウェブサイト及び、福岡学習センター・北九州サテライトスペースの窓口で発表します。
---------------------------------------	--



事前申請受付 4月16日(水)13時10分まで

当選科目の連絡 4月17日(木)	次のいずれかの方法で授業料を納入したことにより、受講できます。 D:窓口納入 E:郵送(現金書留) ※福岡学習センターは、4/17(木)～5/7(水)まで閉所のため、「E:郵送(現金書留)」のみの納入となります。
------------------------------------	--



4月24日(木)までに授業料を納入してください。

◎先着申請受付:4月17日(木)15時から(※事前申請で満席とならなかった科目)

- ※ 4月17日15時以降、システムWAKABAで空席の状況をリアルタイムで確認いただけます。
- ※ 空席のある科目への追加登録は、原則として、開講日の7日前まで先着順にて申込みを受け付けます。ただし、定員に達した時点で受付を締め切ります。

【事前申請方法】

A:Googleフォームから申請

福岡学習センターのウェブサイトの「お知らせ」から、GoogleフォームのURLをクリックして、必要な項目を入力してください。

B:学習センター窓口で申請

開所時間を確認のうえ、「追加登録申請書」に必要事項を記入し、福岡学習センター窓口にご持参ください。

C:郵送で申請

- 「追加登録申請書」に必要事項を記入し、福岡学習センターへ郵送してください。
- ※北九州サテライトスペース実施科目も福岡学習センターへ同申請書を郵送してください。
- ※申請書は以下の方法で入手できます。
- ①窓口 ②福岡学習センターウェブサイトよりダウンロード ③面接授業冊子巻末付録

【当選 ⇒ 授業料の納入方法】納入期限4月24日(木)まで

空席数を超える申請があった科目は厳正に抽選を行い当選者を決定します。
期日までに納入が困難な場合は、必ず事前に開設学習センターへご相談ください。

D:学習センター窓口にて納入

※福岡学習センターは、4/17(木)～5/7(水)まで閉所のため、「E:郵送(現金書留)」のみの納入となります。
開設学習センターの開所時間内に、次のものをご持参ください。

①学生証、 ②所定の授業料(1科目6,000円 × 当選科目数)

E:郵送(現金書留)

開設学習センターの面接授業担当宛へ、次のものを郵送してください。

①追加登録申請書、 ②所定の授業料(1科目6,000円×当選科目数)、
③返信用封筒(長形3号、宛先明記、110円切手貼付)

(郵送時の注意) 4/25(金)以降に到着したものや、不備のあるものは返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しします。

【先着申請受付(事前申請で満席とならなかった科目)】

※4月17日15時以降、システムWAKABAで空席の状況をリアルタイムで確認いただけます。

空席のある科目への追加登録は、原則として、開講日の7日前まで先着順にて申込みを受け付けます。

ただし、定員に達した時点で受付を締め切ります。

【ログイン】方法

放送大学トップページ → 在学生(WAKABA)をクリック → システムWAKABA(教務情報システム)をクリック → システムWAKABAへログイン → 教務情報 → 「科目登録申請」→「空席照会」をクリック → 希望の科目を検索

※空席状況は、検索された時点でのものです。学習センターで申請される際には、空席状況が変わっている場合もありますので、予めご了承ください。

【先着申請受付方法】原則、開講日の7日前まで

申請の前に空席状況を確認してください。

F:学習センター窓口にて納入

※福岡学習センターは、4/17(木)～5/7(水)まで閉所のため、「E:郵送(現金書留)」のみの納入となります。
福岡学習センターまたは北九州サテライトスペースの開所時間内に、次のものをご持参ください。

①追加登録申請書 ②所定の授業料(1科目6,000円×当選科目数)

G:郵送(現金書留) ※北九州サテライトスペース開講科目の郵送申請は福岡学習センターに郵送してください。

開設学習センターの面接授業担当宛へ、次のものを郵送してください。

①追加登録申請書、 ②所定の授業料(1科目6,000円×申請科目数)、
③返信用封筒(長形3号、宛先明記、110円切手貼付)

授業料納入確認後、面接授業科目追加登録決定通知書をお送りします。各科目の追加登録受付期限内に郵便が届かない場合、申請した科目がすでに満席の場合、申請内容に不備がある場合、などは登録できません。その場合、返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しします。

(参考)ライブWeb 授業科目の「追加登録」について

学習センターが開講する科目(「学習センターコード」が「12Z」以外の科目)に空席がある場合には、当該科目を開講する学習センターで追加登録を受け付ける場合があります。追加登録の手続きや日程は面接授業に準じます。

2025年度第1学期面接授業開設科目一覧

※以下の科目の中で空席のあるものについて追加登録を行います。
(北九州サテライトスペースの4月開講を除く)

	日 程		科 目 区 分	科 目 名	担 当 講 師
福岡 学 習 セ ン タ ー	5月10日(土)	5月11日(日)	基盤科目:外国語	原書と映画で学ぶ英語その5	志水 俊広
	5月10日(土)	5月11日(日)	専門科目:心理と教育	心理検査法基礎実習	花田 利郎
	5月17日(土)	5月18日(日)	導入科目:自然と環境	実験で学ぶ色の科学と文化史	安池 智一
	5月17日(土)	5月18日(日)	専門科目:心理と教育	心理学実験2	斎藤 富由起
	5月17日(土)	5月24日(土)	専門科目:心理と教育	心理学実験(基礎)(★)	竹林 ひかり
	5月31日(土)	6月7日(土)			
	5月17日(土)	5月18日(日)	専門科目:人間と文化	大学博物館への招待9	伊藤 泰弘 他7名
	5月24日(土)	5月25日(日)	専門科目:心理と教育	心理学実験1(※)	山本 健太郎
	5月24日(土)	5月25日(日)	専門科目:情報	情報化社会における図書館	渡邊 由紀子
	5月27日(火)	5月28日(水)	専門科目:人間と文化	西洋美術の歴史と理論	青山 昌文
	6月7日(土)	6月8日(日)	専門科目:生活と福祉	人間工学	村木 里志
	6月7日(土)	6月8日(日)	専門科目:心理と教育	臨床心理学実習	佐藤 仁美
	6月7日(土)	6月8日(日)	専門科目:情報	コンピュータの仕組み	南里 豪志
	6月14日(土)	6月15日(日)	専門科目:生活と福祉	食品機能学	立花 宏文
	6月14日(土)	6月21日(土)	専門科目:心理と教育	心理学実験3	分部 利紘
	6月14日(土)	6月15日(日)	専門科目:社会と産業	刑事司法と福祉	土井 政和
	6月21日(土)	6月28日(土)	基盤科目	新・初歩からのパソコン	笠原 義晃
	6月21日(土)	6月22日(日)	専門科目:心理と教育	社会的養護と学校教育	村松 健司
	6月21日(土)	6月22日(日)	専門科目:自然と環境	金属材料と加工(★)	津守 不二夫
北九州 サテライト スペース	4月19日(土)	4月20日(日)	専門科目:人間と文化	古代中国の社会と漢字	宮本 徹
	4月26日(土)	4月27日(日)	専門科目:生活と福祉	加工食品の開発・生産の実際	米満 宗明
	5月10日(土)	5月11日(日)	専門科目:心理と教育	リーダーシップの心理学	池田 浩
	5月17日(土)	5月18日(日)	専門科目:情報	音と音楽への情報学的アプローチ	仁科 エミ
	5月24日(土)	5月25日(日)	専門科目:心理と教育	心理検査法基礎実習	菊池 悌一郎
	6月14日(土)	6月15日(日)	専門科目:自然と環境	生物無機化学の基礎	久枝 良雄

(※)BYOD…Bring Your Own Device (自分用パソコン持ち込み方式)

インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。(事前に所属センター事務室へ申請してください) OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

(★)…ライブWeb授業科目

【※WiFiの利用】

福岡学習センター及び北九州サテライトスペースにおいて、Wi-Fiの利用を希望される方は、「Wi-Fiの利用について」を参照のうえ、お手続きください。

※「福岡学習センターウェブサイト > 施設利用案内 > 「Wi-Fiの利用について」

【利用までの流れ】

- ①情報セキュリティ研修を受講
- ②無線LAN利用申請(情報セキュリティ研修の修了証が発行された後)
- ③Wi-Fiの接続

※ID発行後、ご自身のIDやパスワードが分からなくなった場合は、無線LAN利用申請画面から確認することができます。

☆ ご卒業おめでとうございます ☆

2025年3月23日に福岡学習センターで2024年度第2学期卒業証書・学位記授与式が行われました。福岡学習センター・北九州サテライトスペースから教養学部112名、文化科学研究科4名の方が卒業・修了されました。おめでとうございます。

教養学部.....	112名	大学院.....	4名
生活と福祉コース.....	26名	生活健康科学プログラム.....	1名
心理と教育コース.....	41名	臨床心理学プログラム.....	1名
社会と産業コース.....	14名	社会経営科学プログラム.....	1名
人間と文化コース.....	12名	情報学プログラム.....	1名
情報コース.....	12名		
自然と環境コース.....	7名		



卒業生からのメッセージ

情報コース 安武 和人



日に日に暖かさを増し、やわらかな春の訪れを感じる季節となりました。本日は、私たちのためにこのような式典を開催していただきましてありがとうございました。そして、ご多忙の中ご臨席賜りました久枝所長をはじめ、御来賓の先生方に心よりお礼申し上げます。いつもであれば、同窓会代表として来賓祝辞を述べるのですが、今日は卒業生を代表し、ひとことご挨拶をさせていただきます。

私が放送大学に入学したのは、今から26年前、1999年です。この年は北九州サテライトスペースが設置された年です。また前年は福岡学習センターが、九州大学箱崎キャンパスから博多駅南側の博多織会館内に移転し、「新たな世紀へ向けての変動」の時期だったように思います。

4年で卒業という自分の目標から1年遅れ、2004年に卒業しました。卒業後は、当時開設されて間もなかった大学院(修士課程)に進学。まずは修士選科生として入学しました。選科生として在籍しながら、修士全科生になるべく入学選考試験に挑戦するのですが、なかなか合格できません。そのうち自分自身の基礎学力の弱さに気づき、学び直しと基礎学力を高めるため、再度学部生として入学。修士論文の研究計画に関連する科目や語学(英語)を必死で勉強しました。4度目の大学院入学者選考試験で何とか合格し、晴れて修士全科生として入学できました。

学部生として「勉強」したことを修士の「研究」につなげていくという状況の中、修士論文を書き上げ、口頭試問にも合格。修士課程を修了したのが2010年のことでした。

その後、学ぶことの楽しさにすっかり取りつかれてしまった私は、学部の再入学・卒業を繰り返し、きつけば自分の人生の半分以上。3分の2近くを放送大学の学生として過ごしてきました。本日その集大成として、「名誉学生」の称号を頂けたことに感無量の思いがします。

ただひとつ残念なことは、私の父にこの名誉学生の賞状を見せられなかったことです。

「放送大学最後の、名誉学生表彰の卒業式には、私と一緒に東京に行く」ことを楽しみにしていた父でしたが、その思いがかなわず、昨年6月に他界いたしました。今日帰宅したら仏壇の前で「もらったよ」と報告しようと思います。

最後になりましたが、久枝所長はじめ、ご指導ご鞭撻をいただきました客員の先生方、いつも暖かく見守ってくださったセンター職員の皆様方に感謝を申し上げるとともに、放送大学のさらなる発展を願いつつ、私たち卒業生・修了生一同の感謝の言葉といたします。



卒業生からのメッセージ

生活と福祉コース 70 代男性

放送大学に入学して14年になります。一番の思い出は、三度目の卒業式の時に学位記と同時に特別表彰状を頂いたことです。それには、「生涯を通して学習を継続しようとする人の模範となるもの・・・」と記してあります。この言葉に励まされ、また、この言葉に恥じぬよう、これからも生涯学習を続けたいと思います。

心理と教育コース 60 代女性

たいへん楽しく勉強させていただきました。面接授業は時間割がきつくて、レポート提出はいつも時間との戦いになり大変でした。同じ授業を受けている人々は、皆さんとてもまじめで、教室のふんいきは、いつもとてもさわやかで楽しかったです。勉強させていただいたことで特に仕事がかかる訳ではありませんが、得られた知識や考え方は、確実にこれからの人生を豊かにしてくれることを実感しています。ありがとうございました。そしてこれからもよろしく。

心理と教育コース 40 代女性

高校卒業後、すぐ就職したため、ずっと大学にあこがれがあり、いつか大学を卒業したい、と思いながら過ごしていました。通信制という学び方があることを知り、また、福岡で面接授業が受けられることがわかり、卒業を目標に入学しました。レポート科目は大変でしたが、だんだんレポートの書き方に慣れてくるのもうれしく、書き上げると達成感もあり、普段の生活では味わえない充実感がありました。改めて、自分が知らないことを学ぶおもしろさにも気付かされました。仕事と両立できたのは、通信制だったからこそだと感じます。夢をかなえることができ、感謝しています。

社会と産業コース 40 代男性

放送大学で学んだ感想は忙しい社会人でも学ぶことを継続できることです。編入学で入りましたが、コツコツと単位を取り気づけば卒業見込みとなりました。学ぶことで新しい発見があり、新しい視野が広がると思いました。また、再入学しますが宜しくお願いします。

情報コース 50 代男性

放送授業や面接授業・オンライン授業とそれぞれの特色を活かした豊富な科目を自分の興味に合わせて自由に選択できるのが良かった。また、自分の都合に合わせて曜日、時間に関係なく受講出来るのが最大のメリット。面接授業では普段交流することのない他の学生と接することではげみになった。オンライン授業は課題やレポートなどミッションも多く大変だったが、その分深く学ぶことが出来た。4年間ありがとうございました。少し休んで、また戻ってきます。

自然と環境コース 60 代男性

入学当初は卒業できるか不安はありましたが、なんとか無事に卒業できることになり安堵しています。しかし、卒業までちょっと時間が掛かりすぎました。

心理と教育コース 50 代女性

自ら学びたいと思う気持ちがわきあがり、まず大学入学しました。何を学びたいか？ 自分が生きて経験したことを振り返りながら心理学が学びたいと無性に心がつき動かされていきました。勉強していく中で、何度も涙し、納得し、新たなきづきがありました。正解を求める勉強でなく、一人一人の中での自己決定、多様性を学べた4年間でした。私の中の人生でこの4年間の大学生活は、かけがえのない時間でした。ありがとうございました。

心理と教育コース 40 代女性

放送大学で学んだ経験は、自己成長やキャリア形成にとっても役立ちました。柔軟な学習スタイルや充実したカリキュラムによって、仕事と学習を両立しながら専門知識を身につけることができました。また、実習やグループワークを通じて他の生徒さんと交流し、情報を共有することで新たな視点やアイデアを得ることができました。また、心理学の知識を深めることで、キャリアコンサルタントの国家資格の取得にもつながりました。通信大学ならではの教育システムやサポート体制は、私の学びをサポートし、成長させてくれました。今後も継続的に学び続け、自身のスキルを高めながら、社会に貢献できるコーディネーターとして、活かしていきたいと考えます。

心理と教育コース 20 代女性

高校卒業後、進路に悩んだ末、放送大学に入学しました。在学中は、バイトやオーストラリアでのワーキングホリデーを経験しました。高校の同級生とは違う進路選択に葛藤しましたが、放送大学で学びながら、働いたり旅をするスタイルは周りの人達に褒めて貰えました。4年で卒業するという目標も達成でき、嬉しく思います。

人間と文化コース 70 代女性

やり残したことがないか考えてみました。そうだと学士の取得をしようと思い早速入学いたしました。最初は、とても緊張しましたが、オンライン授業にも慣れて楽しく学べました。面接授業ではより深い授業になり、とても有意義な時間でした。意義ある4年間でした。事務所の方々には大変お世話になり有難うございました。

情報コース 40 代男性

1999年に放送大学に入学しました。それから26年、学部6回、大学院1回、計7回目の卒業(修了)となり、名誉学生称号を頂きました。46歳の人生の半分以上を放送大学と共に歩んできました。今回を一旦の区切りとして、次、どうするか考えています。が、「学ぶ」ことは、続けたいと思っています。

大学院生活健康科学プログラム 40 代男性

非常に有意義な学びが得られました。修士課程の同期8名で修了する喜びを得るとともに、2年間の濃厚な時間を過ごすことができました。分野や年代が違う仲間との出会いや刺激は放送大学ならではの、人生における大きな転機となりました。本当にありがとうございました。



4月～6月のスケジュール



4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19 ◆(北九州)
20 ◆(北九州)	21	22	23	24	25	26 ◆(北九州)
27 ◆(北九州)	28	29	30			

■ は福岡学習センターのみ閉所。

面接授業 [4/19・20、4/26・27] は北九州サテライトスペースで実施。

4月の行事・お知らせ

6日 北九州サテライトスペース閉所日

6日 入学者の集い（＊）

11日 面接授業空席発表

17日 面接授業追加登録受付開始

17日～ 移転に伴う臨時閉所（福岡学習センター）～5/7

（＊）入学者の集いの参加対象：初めて放送大学に入学された方のみ



5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10 ●◆
11 ●◆	12	13	14	15	16	17 ●◆■
18 ●◆	19	20	21	22	23	24 ●◆■
25 ●◆	26	27 ●	28 ●	29	30	31 ■

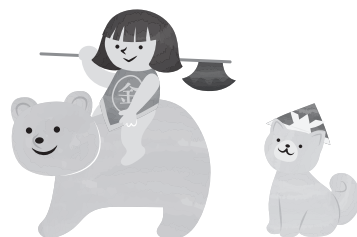
5月の行事・お知らせ

1日～ 移転に伴う臨時閉所（福岡学習センター）～5/7

8日 通信指導提出開始（Webによる提出）

10日 九州大学キャンパス開放（オープンキャンパス）

28日 通信指導提出期限（Web、郵送）



6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 ●■
8 ●	9	10	11	12	13	14 ●◆
15 ●◆	16	17	18	19	20	21 ●■
22 ●■	23	24	25	26	27	28 ●
29	30					

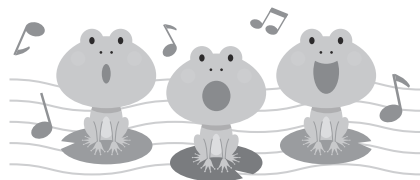
■ 閉所日 ■ 福岡学習センターのみ閉所日

●=面接授業（福岡） ◆=面接授業（北九州） ■=ライブ Web 授業

6月の行事・お知らせ

10日 2025年度第2学期入学生出願受付開始（第1回）
（教養学部、大学院修士選科生、修士科目生）（～8/29）

29日 卒業研究ガイダンス



放送大学福岡学習センター

〒816-0811 春日市春日公園6-1
（九州大学筑紫キャンパス内E棟4・5階）
TEL:092-585-3033

放送大学北九州サテライトスペース

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3
（コムシティ3階）
TEL:093-645-3201

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようお願いいたします。

ウェブサイト：
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukuoka/>



ウェブサイト



X (旧 Twitter)